

白光の捷徑

昨年来続いていた姫路市による本徳寺門前の景観復興工事は昨年3月に完成し、表参道ならびに脇参道が整然とした白格子石3380枚で敷き詰められた。参道には計7基の400WNaランプスタンドが設置され、夜間の安全性が確保されるようになった。参道の整備と同時に、築地塀も境内側の溝工事の仕上げを残してほぼ完成を見た。また、昨年6月中旬には、太鼓楼の囲い足場も取り除かれ、再建なった楼閣が全容を顕わし、夜間はライトアップされ門前の重厚さと呼応して元禄期の厳肅な歴史空間を再現している。門前の植栽にはモチの木が植えられ、落ち着いた緑を添え、数年後には豊かな潤いをたたえることになるだろう。

門前の景観として欠かせない石柱も、安全面の上から予定を早めて設置された。これにより門前の工事はほぼ完了したことになる。しかし、修復の目玉の一つでもある大門の修復も今年度に完成予定である。この工事をまって元禄の門前景観が全て完成することになる。大門は太鼓楼ほど破損が酷くないため、解体まではせず部分的修理をほどこす程度である。しかし、敷石の狂いや門扉の歪みなどの補正を行い、欠落した彫刻、重要な装飾である各種の金具類が付けられ、屋根替えが行われる。この秋頃には元禄の大門が雄姿を見せるはずである。

さて、石柱に話を戻すと、門前石柱の中央にある二本の親柱には「令法久住利有情」(令法久しく住

人になる道・仏になる道 - 本徳寺表参道 -

して有情を利せん) 伽藍安穩興正法」(伽藍安穩にして正法を興えんと)と刻印されている。この度の工事の仏教的な意味がここに語られている。

意味を取ってみると「迷いの自縛からとき放たれる教えがここに未永く保たれ、心ありそれ故に苦しむ者、一切の衆生に真実の利益を施さん。」「虚仮の世に、仏様のみ教を伝える場が堅固に営堂されて、如来の本願が正しく伝えられ、ますます仏法がその真価を發揮せんことを。」

100年前から始まった植民地ア

ジアの文明化、つまりアングロサクソン・ショックは、特に戦後の日本社会と日本人を見事に作り替えることに成功した。当然のこととして、古い農業中心の伝統的な村落共同体は技術と経済の圧倒的な暴流の前に、その機能を急速に低下させたことは言うまでもない。

人倫においても西歐的「個人」が喧伝され、本来、唯一神との関係で築かれ、ヨーロッパという歴史的な殺戮の現場で練り上げられた「人権」が、文明化の先兵として日本上陸を果たし、日本の精神の武装解除を伴いながら、日本人の人間観に劇的な影響を与えた。

しかし、その成果は意外な方向に日本を押しやった。戦後日本を



飾磨街道より大門を見る。以前は白壁に囲まれ塀に沿って松並木があった。霊亀橋は石橋で元禄の頃の製作であった。現在は、石畳が敷かれ、団体参拝の大型観光バスが出入りする参道に変わった。



染め上げた大衆化という均質主義は、独特の人権観と平等観を生み出し、感度のいい「差別狩り」の検知器として利用され、意外にも均一的「自分主義」の手軽な根拠に見事にすり替えられた。

現在の日本では「人権」は戦前の「天皇陛下」の機能を果たしている。「人権」の前には誰一人として反抗は出来ないのだ。これに反抗すれば日本社会では生きていけない。

さらに、人権主義者の大半は「人権」の根拠を突き止めることになんと不熱心なことか。ここには呆れるほどの思想的痴呆状態がある。当然に表面的な権威的人権主義しか醸造されないことは明らかである。第二の開国を目前に、近代日本の悲慘が色濃く滲んでいる。

絶対的な「個人」を生み出すことのなかったアジアの伝統的な精神文化は、もっぱら互いの繊細で緻密な関係を構築することに腐心してきた。人と人の関係、人と自然の関係を注意深く築き、その関係性によって生ずる役割の担い手として、はじめて「自己」を認識してきた独特の文化をもっている。しかし、人間のつくる文化は常に不完全であり、その欠陥をさらけ出すの

は当然である。本来、流動的な関係は固定化され、文化の成熟と共に硬直化がすすみ、社会的秩序は常に崩壊の危機にさらされてきた。仏教の社会的役割を問おうとするならば正にこの点においてである。硬直した文化や形骸化した社会関係の中に常に身を置きながら、その形骸を断ち切り関係性の仕切直しを可能にする仕掛けが必要とされなければなるまい。

その典型的な原型が「如来」と「私」の関係ではなかろうか。この



関係を学ぶ場所がお寺であることは言うまでもない。だから、本徳寺の参道は単なる通路ではない。独特の宗教的な意味をもつ空間である。もっと言えば自己の原点を知る為のプレリュードである。この白光の参道はそのようにして本来の人道を取り戻すのであろう。

(文責 大谷)

五条築地の建設工程

年	月日	記事
1998	5/9	東側築地塀仮囲
	5/12	東側築地塀解体開始
	5/22	東側築地塀解体終了
	5/25	東側築地塀基礎工事開始
	6/16	東側築地塀基礎コンクリート打設
	6/26	東側築地塀鉄筋骨建方
	7/7	東側築地塀壁張開始
	7/15	東側築地塀壁張終了
	7/17	東側築地塀小屋組木工事開始
	8/3	東側築地塀小屋組木工事完了
	8/18	東側築地塀仮囲
	8/19	東側築地塀屋根瓦葺開始
	8/20	東側築地塀解体開始
	8/31	東側築地塀茶所前を除いて解体完了
	9/3	茶所下屋補強
	9/9	茶所前築地塀解体
	9/26	南側築地基礎コンクリート打設
	9/29	東側築地塀仮囲解体
	10/2	南側築地塀鉄骨建方
	10/12	南側築地塀アスロック張開始
10/15	東側築地塀鉄骨建方	
10/28	南側築地塀小屋組開始	
11/4	南築地塀瓦葺開始	
11/26	東側築地塀小屋組完了	
12/19	築地塀仮囲解体	
12/21	築地塀屋根瓦葺完了	
1999	1/29	築地塀目地シール打
	2/20	築地塀目地シール完了
	3/3	築地塀廻りU字溝据付
	3/17	築地塀吹き付け